

# 学校だより しゅんいん

令和3年6月1日（火）  
第3号

## 相模丘中学校

### 『人は、なぜ学ぶのか？』

～キャリア教育につなげる学び合いの教室文化の構築～

校長 水野登雄

相模丘中の学校教育目標は、「キャリア教育」です。中学校を卒業した後に、たくましく生きていける力の育成です。そのためには、「学び」が大切です。

今日から6月に入りました。6月は祝日がなく、疲れがたまりやすい時期だと思います。目標をもった、前向きな生活がのぞまれるところです。

「人は、なぜ学ぶのか？」と問われたら、私は「よりよい社会をつくるため」と答えます。「よりよい」というには訳があります。コロナ禍の時代ですが、今の私たちの社会は、世界のあらゆる国々を見渡すと恵まれた環境にあります。しかし、そこに満足せず、世界を引っ張っていき、さらによりよい社会をつくっていきたい。そんな思いがあるからです。

学習において、生徒のみなさんは、テストの点数で高い点を取りたい。通知表でいい評価を得たい。と考えるでしょう。その希望に応えられるように、私たち教員も「わかる授業」「置いてきぼりを作らない、互いに向上する授業」を実行します。それだけではありません。今年度、特に取り組んでほしいことを明示します。自分の考えをみんなの前で表現できることです。

#### 〇アウトプットできる生徒の育成が、学校のビジョン

- ①友だちの表情に気をつけながら話す。
- ②原稿を見ずに、自分の言葉で話す。
- ③もう1回言ってと言われたら、同じことを言わないで、工夫して話す。

キャリア教育において育みたい力に

- (1)認知的能力（IQなど、測定できる力）と
- (2)非認知的能力（目標に向かって頑張る力、感情をコントロールできる力、人とうまく関わる力等、数値では測定できない力）があります。

数字に表れる評価だけを気にするのではなく、数字に表れない「非認知的能力」の育成も社会に出

て活躍できる力「キャリア教育」の大切な部分です。これをアウトプットの中で鍛えてほしい。学び合いの授業の中では、思いやりの心が育まれます。すてきな教室文化を構築してください。

